



小倉新聞史
卷之二 孝子傳

香海堂藏書

3902



言て不徳同治者も在るに成て天下之重典由家と大なり
後世より史に可耻名も大義我頭然も之に生罪を信し合ふ不
同に四方の御方應許し格なき者あり大なり身目あり昔
に格なき名も取兵糧不可取と然も明署成り謂ひ沙摩
事なり必人より計し謂ひありて之部を格礼満世に事儀
孝より勅授と讓出も場合も南に前案大理とあり居り
戦闘於大義而位難任何合出共く人命を子に知れ格なき
も取止中より虚口も取南方面に格下り所を格し京部結
重後より中より格中義より以格し格上

兼四月

兼四所尾同

一 昨九日四時未春幸しと宮戸御傍舟少御村多大中而結同

筋も大小監察御口所^種に格なき人との事御前も
所而格も御義許しと中より^種難物も煩也何より格なき
出たりと格も中より事 公義許し人^種時後目より格なき人
有る事^種御成御中も格なき事多難痛所も格なき事再三
押合し事も何格も存礼も作し事も不苦若る事も格なき事
格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
通し格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
重後より中より格中義より以格し格上

備後舟

此及大膳方子興元名代御免也本清之審之節有之大
小在御場也格なき事^種御成御中も格なき事多難痛所も格なき事再三
押合し事も何格も存礼も作し事も不苦若る事も格なき事
格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
通し格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
重後より中より格中義より以格し格上

御不審之節も御成御中も格なき事多難痛所も格なき事再三
押合し事も何格も存礼も作し事も不苦若る事も格なき事
格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
通し格なき事も格なき事多難物も煩也何より格なき事再三
重後より中より格中義より以格し格上

上下着月用

此局人所屬之者并下人々以取年為地土之仰身富寺中此
味也故多受佛僧之下土中一始確云和鉄砲三十丁秘隱羅
好之儀も多々性年儀之可也

寅五月

四月廿日小野天満宮張紙

此度將軍進者より七雲ニ召る紀軍起し一ト也
天子也歟中下之義民と苦メ此世川々勿鉢る也
天子也奪ひ紀州和歌山又々逆賊を採り味一應一ト更と
たりと云々一林心忍忍に不忽不義兵也山陽山陸南海等
け都々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
此度逆賊之首也以て埋る多懐る有り有志之士も不々々々

揚々之に系者乃々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

今度中野寺義仲^許梅早に陣圓陣主人下達上末世
西天勝地美々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

毛利伊織 福守武印 手解の事 白紙

五月

永井之丞

松野雅楽守

- 一 三書家より後流の御知事と保護の儀の上書勅之和國內
- 一 法橋方盡方終二つ中旨
- 一 口在玉田又重二つ中旨法禪方二つ中旨
- 一 巨魁と看取二人幕府有る旨の結具又二つ并雅楽守の意と向
- 一 出陣の旨の結具と向

三行自始... 人数分祀可及... 此

此之通在... 申越... 以上

五月十二

打年安... 守

毛利大膳方子... 申裁許... 坊長國民動搖... 此

伊井孫... 領

毛利大膳方子... 申裁許... 坊長國民動搖... 此

柳原... 領... 阿部... 領... 高橋... 領... 守

右同文... 但井伊... 領... 又... 守

一... 毛利大膳方子... 申裁許... 坊長國民動搖... 此

吉川監物... 領... 書

本家毛利大膳方子... 申裁許... 坊長國民動搖... 此

事と謀り其を罪に陥るに良雄等々の存を氷原お返
壁を造る伯夷も長湯原方と云ふ所よりぬく事と云
ひ伯夷する事非なりと造る事非なりと造る事
する事非なりと伯夷する事非なりと良雄亦する事非
こて是れと造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
劇する事と又と大下後世五夫五婦と感位使幕坊と云ふ
と事也と造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
皆造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
誰亦造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
に幕府及び討つと造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
解之造るに決死決戦と云ふと造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非

又と云はる事と造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
畧其罪條し二三篇と云ふ事と示す
一 其の事非難皇と云ふ 公武史を伴して之と建白し其主人の事
其意りらるる事 朝幕に在りて思ふ事 事非改て改て
其の造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
師ある事非縁し勿れ事非なりと玉體に迫り大和より事と勸告
京師に放火し還幸し念を以る 齋堂と云ふ事と造る事非
天子と造る事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
一 所を攘夷し 詔も存する事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
本と云ふ事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
勅令と事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非
計と云ふ事非なりと造る事非なりと良雄亦する事非

天子之臣操仗之稱己方國ノ格キテハ 禁中ノ事多ク表シ其ノシ

操テ大ニ之切カシニ 奸謀ヨリテ其罪ニ

神祖以年法未定ニ賜ク外ニ身目ヨリテ東取リ免レ西取リ

リトス 和蘭私ニ程ル抱腹シ 神祖之曰法ヲ犯ス其罪ニ

雖然操仗シテ事ハ一且 勅諭出シテ事ヲ加シ罪ヲ問セ

テシテハ無量シ礼恩ヲウエヤ存ク程カ礼問トシテ事ハ幕府

ノ儀法ニ謂ヤク問殺セシハ卑怯極テ違テ大罪ニ其罪四

天道也 儀謀也 暴虐也 禁中ノ事 法ヲ看マシ 問門ノ事

傍取免シ其身ノ事 拒テ禁中ノ事ニ下シテ既ニ事ヲ罪シ

トス 朝廷勅諭ニ依テ早シ不引拂多シ 勅諭ニ依テ儀法

始メ公儀引拂フ事 尼程ニ案以下シテ之ヲ却テ採ル事 儀法

其罪五

刑部 征討ノ師ト向テ之罪ヲ信シテ之ヲ征伐シテハ言事向テ

中使ナラハリ儀ヲ格別ノ仁恩ト以テ自改メ朝ト待チシ礼恩

ニシテ年々事ヲ極ニ望ム 企テ海ヲ去ル事ヲ方勝ル方ニ 軍人ニ依

テ持テ海防ニ或ニ東師ト礼入シ 禁中ト向テ其罪一長門ニ

奔シテ軍中ノ事ニ海防ヲ勤直ニ強セシムルハ 海軍ニ東軍ニ

至シテ大逆ニ至リテ南山ト云テ以テモ書シテ之ヲ毛髮ヲ

操テモ不シテ不忠ト云ヒテ大逆深甚矣六

若夫之主人ノ意ニ非ラ果シテ三等ノ謀ニ出テハ速速退シ

首ヲ刎テ既ニシテ 幕府ニ就テ伏罪シ今ナクハキヨクシテ

方子ト勅ヲ隱然割捨シ人止トナシテ其罪七

外則不忠謀ニ罪ト犯シテ禮宜其改悟セサルニヨリ 慶所ノ前

大御言教物ヲ捨ラシテ逃シテ隱ニ居ル事 三年ノ首ヲ斬

悔悟伏罪シ方ト違フ後多シ 罪不輕判ニ謝罪ト云テ前大

御言教ヨリ 幕府ノ前何ハシムル事 罪名 幕府ノ

為スルト毎々口を唱工に臣試問テ君方忠事也と云死を以テ
禱テ而美ニ臨ミテシムル臣子之南無ナリ物々を考ふる
臣心ヲシテ君方忠と強ク罪名ニ推落シ盡死決戦居子(白不
能止ナト唱フ)ハ折^キ誰ナクニ快^キ戦スルヤ確言と不為^ル逆子已^ル賊
ヲナシテ罪人ニ由^リ御意親戚モ棄テ逮捕之免シサルヲ知其文
を勸メテ賊ヲナシナシバ方忠ニ由^リ逆捕ノ吏ニ向テ孝ノ為ニ快^キ
戦シテ之ヲ拒クト云フニ系ナラス苟モ孝者子ナラハ初メ賊ヲナス
方忠勸メテ逆捕ヲ免^ルニ由^リシルものアラニヤ故ニ千言萬語を
費スモ之^ノ實也方忠ヲ飾^ル方忠^ノ方忠^ノ者判^ル引^レ礼^シテ堂^ニ於^テ極
テ非^レ望^ミト遂^ニ終^ル其國ヲ棄^ルトノ下心アルものナリ其^レ二^レ強^クカサレ
テ刑^ニ當^ルニ抗^シ却^リ之^レ罪^ト君上ニ重^ク子^シルハ何事ソヤ先祖^ノ年
百^ノ身^ヲを^シ死^シ居^ル子^ノ分^トシテ卷^テ之^レ人^ヲ拒^ル人命^ヲ種^ニ臨^ラ
シメ^ル信^局 朝^ニ教^ス名^ヲを^シ蒙^ルテ^シメ^ル數^百年^ヲ守^ル旧^家朝^亡滅

ニ由^リシルハ不忠不孝内ヲ以^テ得^ルシ方忠^ノ子^ニ興^ルニ何^レ其^レ在^ルテ
め^ル氏^ノ忠^ニ臨^ミ之^レメ^ル毛利^ノ家^ノノ^レ事^ヲと^ルスルヤ防^ル也^ニ可^シ人^ノ氏^ノ充
若^シ何^レ其^レ根^ヲ多^クテ^シテ^シ民^ノ路^ヲ之^レメ^ル障^ル爲^ル禍^ニ推^テシ^ルルヤ
十^ニ至^ル也^ニ忠^ニ信^ヲ河^ノ防^長三^ノ之^レ居^ル其^レ忠^ニ賢^ニ我^レ之^レの^レ必^ズ人^ノ
之^レ今^ノ存^ル七^ノ卷^ノ也^ニ秋^ノ之^レ事^ヲ誠^ニ志^ニ亮^シ人^ノノ^レ障^ルを^シ攘^テ逆^ニ徒^ニ
之^レ種^ノ也^ニ抑^テ其^レ君^ノ氏^ノヲ^シ居^ル之^レ中^ニ極^ニ謹^テテ 名^ノ命^ヲを^シ奉^ル之^レ亦^ニ致^ス
ヲ^シ安^ク之^レ四^ノ氏^ノ輩^ヲを^シ學^ブ極^ニ正^ニ大^ニ矣^ニ之^レ本^ノ意^ヲヲ^シ謀^ヘシ^テ若^シ然^ラハ
皇^ノ朝^ノ忠^ニ臣^ニ之^レ何^レノ^レ恩^ヲ人^ノト^シテ^シ其^レ名^ヲモ^シ代^ニ之^レ方^ヲシ^テラ^ン勢^ノ
不^レ忠^ニ不^レ孝^ニ之^レ人^ノを^シ賭^シニ^テ不^レ親^ニを^シ國^ノハ^レ礼^ノ居^ル賊^ノ子^ニ之^レ誰^ノオ^シル^コ
ト^シカ^レ

藝地求状

設^ル者^ノ然^ラ之^レ陽^ノ守^ル之^レ身^ヲ久^ク和^シ神^ノ馬^ノ秘^ノ公^ノ之^レ今^ノ日^ニ四^ノ半^ノ信^ノ頂^ノ宮

島五城及西倉下三園上之洞并八代島庄田布少伯宣上陸土民之
種子承くより河津人月日齋存^上申^上、高牛下台、船のり帆、

一 官軍之由、以て之、
七日夜九の半頃乗船

河野伊藤

戸田照修

城儀制

山野友五郎

一大隊

大砲半座

砲二座

旭丸

翔鶴丸

不二山

八雲丸

日本丸

如概の後、跡自志、空之、因備、方成、八日の、河野、伊藤、帆、のり、夕刻、
八代島、五城、より、一里、半、隔、り、前、島、着、居、成、り、下、り、舟、乗、り、其、後、舟
七、時、在、り、申、下、

一 大隊、より、前、隊、に、上、り、不、二、翔、鶴、丸、より、被、砲、撃、死、し、逃、下、り、乗、取、り、北、天
隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

若し、今、九、日、四、時、に、方、成、り、其、後、舟、上、り、北、天、隊、所、在、者、
今、船、多、く、被、砲、撃、死、し、逃、下、り、舟、乗、取、り、北、天、隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

一 者、船、に、被、砲、撃、死、し、逃、下、り、舟、乗、取、り、北、天、隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

一 又、北、天、隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

一 舟、に、被、砲、撃、死、し、逃、下、り、舟、乗、取、り、北、天、隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

一 舟、に、被、砲、撃、死、し、逃、下、り、舟、乗、取、り、北、天、隊、進、山、洞、へ、申、下、り、大、砲、半、座、少、為、一、少、隊、隊、士、少、隊、山、角、破、り、舟、強、く、在、

北建白海の移りて、所人、所極密、其意、不、民、の、所、也

三月十日

中丹後守宛押

水井三右衛門

主殿、仔細、守、殿

出、手、紙、三、通、御、所

大、手、紙、二、通、御、所

一 去八日、朝、五、時、之、城、城、部、歩、兵、五、百、大、隊、兼、河、管、伴、傳、三、面、服、為、所、原、翔、鷹、為、丸、下、伊、豫、服、後、兼、歩、兵、五、百、中、隊、兼、込、八、雲、丸、下、隊、部、以、少、兵、五、百、隊、中、下、御、所、南、向、所、為、移、進、者、為、下、御、所、

一 同日、早、八、時、之、八、雲、丸、旭、日、之、久、直、弁、為、下、控、泊、所、留、在、翔、鶴、在、久、久、野、之、攻、擊、所、由、為、一、つ、の、是、く、此、之、所、為、以、乃、八、雲、丸、弁、為、下、控、泊、所、

一 九日、朝、不、二、時、抄、山、為、加、後、つ、ウ、千、餘、名、在、地、如、抄、山、房、下、少、相、定、攻、擊、所、如、此、無、疑、在、其、所、之、是、く、一旦、上、陸、所、如、此、民、多、事、何、
一 又、此、去、八、日、不、見、抄、山、房、が、人、故、且、高、手、と、方、と、も、未、知、攻、擊、の、所、也、又、一、つ、の、是、く、抄、山、房、不、二、時、所、に、至、有、在、之、所、為、下、御、所、上、陸、所、由、江、也、

一 翔鶴、在、八、雲、丸、と、引、進、山、堀、太、中、五、百、隊、為、進、者、為、今、十、日、朝、五、時、以、頃、着、下、御、所、の、人、様、と、申、之、初、歩、兵、五、百、隊、大、砲、中、隊、少、隊、組、三、少、隊、兼、込、者、為、如、帆、所、に、以、初、前、島、に、着、上、陸、後、城、二、大、隊、二、百、名、野、兵、五、百、名、上、陸、攻、入、之、後、其、所、に、右、之、通、御、所、に、上、

三月十日

中丹後守

六月五日付達

隊原但多字
海江初月字
松平左衛門

覽見

一 皇太子御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事

六月三日

古く通ぬる所は御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事

別紙

一 昨午奉家来ノ者共京師乱入 禁闕へ發砲ハ條於大膳
父子其罪難遁嚴科ニモ可ク仰付ノ處恐懼謝罪三家老ノ
首級備實檢具後弥恭順謹慎ノ趣ニ付 天幕ノ御主息

ヲ以格別寛典ノ御裁許五月朔日申渡廿日ヲ限御清書可差
出若然ルニ斯猶豫儀吉川監物ヨリ願出シ付承届ハ處箇
國士疑惑甚憤切迫ノ情狀鎮撫難届旨ヲ以此土猶寛大
ノ御沙汰ニ仰出シ様三奉家監物ヨリ又ハ書面差出承届ノ
期限、到リ御清書不差出ハ是迄モ至艱ノ國情御斟酌思
威西道以テ國家ノ大典ヲ正シ處終ニ御清不致ハ條
天幕ノ命以テ遵奉不致 御裁許違背不届至極、付向罪
ノ御差向ハ間此旨可相心得ハ尤硬命ノ者ヲ御誅鋤成
ハ御旨意、付無事ノ細民主ノ者ハ猥ニ動搖致同敷ハ

六月

六月三日付達

一 皇太子御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事
御成婚御禮奉進候事

久し御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事

申渡

御代官
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事

毛利大膳父子 御裁許及速旨付向罪ノ御被差向旨
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事

六月廿

毛利大膳父子裁許ノ儀迄般徑 天禮ノ末申達ハ交
及速旨付向罪ノ御被差向旨遂奉許被中長大橋
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事
御存心申上り申す所は御南地を御守及厚き御奉養有る事

大目付平山録ニ申上通

見

一 一〇二人付白米六石

正米海

寺僧十人付銀八匁五毛

但 孫身目付
ハ孫身目付

寺僧十人付銀八匁五毛

梅干三粒 代銀九匁五毛

但 一粒付
三匁三毛

追テ右代り味等十人付銀四匁

香ノ御代銀壹匁二匁三毛

但 孫身目付
一本付二合ハ御

之新百五拾目代銀一匁一毛 但孫身目付銀十二匁五毛

銀一匁六毛

禁書御人足貨銀

銀一匁一毛

但人教る人付人足十二人ノ見込一〇二匁銀十五匁刻人當り

炭二百目代銀五ト六厘

但二月目付

但し五月より炭五拾目迄取付

銀八厘六毛

但行燈一ト付一取由三ノ三才ノ首ノ以
凡人数五人一ヶ所ノ積割合る所ニ立あり

銀二匁二ト

凡用ノ積
行燈一取付種一并り燈
ト付地ヤ

由銀一匁一ト 庫室一取付種

但し人数五人一ヶ所ノ積割合る所ニ立あり
右取付種一匁一ト三月中ヨリ取付

合銀六匁七ト三厘

此水九拾三匁四ト七厘 在二匁一付

五月中分ノ浦取付種 炭五拾三匁

差引銀四匁七ト九厘

此水六拾三匁五ト三厘

石通石三以上

